

審査の結果の要旨

氏名 荒岡 秀樹

本研究は、腸肝在位 *Helicobacter cinaedi* 感染症の臨床学的特徴、感染経路、検査法について解析を試みたものであり、下記の結果を得ている。

1. *H. cinaedi* 菌血症の感染経路についての研究：血液培養から検出した *H. cinaedi* と便培養から検出した *H. cinaedi* の相同性を評価するためにパルスフィールドゲル電気泳動法 (PFGE) を実施した。研究期間内に得られた菌株のなかで、評価可能であった 9 患者、18 株の検討では、便由来の *H. cinaedi* と血液由来の *H. cinaedi* の PFGE 型は一致した。菌血症の 1 つの主要な感染経路として、腸管から血液中への bacterial translocation が起きていることが示唆された。
2. *H. cinaedi* 菌血症の臨床的特徴についての研究：菌血症の再発に焦点をあてて研究を実施した。研究期間内に 168 症例の *H. cinaedi* 菌血症患者が抽出された。*H. cinaedi* 菌血症の再発は 34 例、菌血症再発の 100 日累積発症率は 18.7%であった。菌血症再発の独立した危険因子として、3 か月以内の抗癌薬投与と 30 日以内の全身ステロイド投与が特定された。47 例で菌血症再発を予防するための選択的消化管除菌が実施されていた。選択的消化管除菌は菌血症再発の頻度を減少させる傾向にあり、再発リスクを低下させる 1 つの治療戦略となりうることを示した。
3. *H. cinaedi* の同定における迅速診断法についての研究：質量分析法 (MALDI-TOF MS) の有用性を検討した。血液培養から検出した *H. cinaedi* 54 株を MALDI-TOF MS で同定した。全 54 株において同定結果の best match organism は *H. cinaedi* であった。54 株中 2 株が 2.0 以上の score value を、50 株が 1.7~1.999 の score value を、2 株は 1.7 未満の score value を示した。Score value 1.7 未満であった 2 株については、16s RNA 解析においても *Helicobacter species* の同定に留まった。

以上、本論文は腸肝在位 *H. cinaedi* 感染症の 1 つの主要な感染経路が、腸管から血液中への bacterial translocation であること、*H. cinaedi* 感染症の臨床像として菌血症の 100 日累積再発率が 18.7%であったこと、抗癌薬投与と全身ステロイド投与が再発の危険因子であること、選択的消化管除菌が再発のリスクを低下させる 1 つの治療戦略となりうること、*H. cinaedi* の同定において質量分析法が信頼できる検査法であること、を明らかにした。本研究は、腸管在位 *Helicobacter* 属の研究に重要な貢献をなすと考えられる。よって本論文は博士 (医学) の学位請求論文として合格と認められる。